

アジア・グローバル

エルメスのかばん「バーキン」が人気だ。供給が需要に追いつかず、常に在庫無しの状態。数カ月待ちが数年待ちになり、注文もなかなか受け付けられない。中古品に注目が集まり、専門店での平均価格は8千円(約105万円)。新品の正規価格よりも高い中古品も少なくない。

ご当地 Price

■パリ

エルメスの中古「バーキン」 105万円



ツグ13種、390個を扱う。鑑定家ジェローム・ランドル氏によると「バーキン」の2013年のオープンから他ブランドも含め累計約2万点を販売してきた。15年は14年と珍しい色のほうが需要が多くなり、高額で売れることだ」とみ。10月に香港店、12月に日本と海外進出も始めた。

コレクタースクエアでの「バーキン」の平均価格は手数料込みで8千円。エルメス社のアーカイブ作成などに20年来関わりをもつ高級かばん「バーキン」の正規価格は7千円前後なので80%増となる。エルメスはここ数年、増産に努めてきたが「バーキン」生産は職人技の世界だ。簡単には量産できない。人材養成には時間がかかるため、「少し珍モデルで、ばらばら中古市場が伸びるだけ」(ランドル氏)。人気素材である希少価値を呼び、希少価値が人気を呼ぶ循環が続きそうだ。(パリ吉田知弘)

職人技、希少価値で人気

【ヤングン松井基一】ミヤンマーの小売りビジネスが成長期に入った。最大都市ヤングンにベトナムのホアン・アイン・ザイ・ライ(HAGL)などが大規模商業施設を開業。ヤングン市内の小売業の面積は直近2年間で1.7倍に拡大した。アウン・サン・スー・チー氏主導の新政権樹立により流通分野の外資規制が緩和されるとの期待も高まり、一層の市場拡大が予想される。

ミヤンマー、小売り成長期

アジア Focus

ミヤンマーの既存小売店の2.5倍以上だが、初日に

小籠包の「鼎泰豊」 フィリピン初出店

台湾で半年修業



【マニラ】佐竹実【台湾の小籠包レストラン、

鼎泰豊はフィリピンの小売大手、SMグループの商業施設メガモール内に開業した。地元のレストラングループによるランチサイズで、同社によると22人のスタッフが台湾で6カ月修業した。7日の開店後も連日長蛇の列ができていた。

鼎泰豊は1958年創業で小籠包が有名。日本など世界に100店舗以上を展開している。

高級品だけでなく、1千円程度の日用品を扱うディスカウントストアも入居する。主婦のエイ・ミヤ・ティダ・カインさん(45)は「開業セールで70%の値引きがあると聞いて駆けつけた。持って帰れるだけ台所用品を買った」と興奮気味に話した。

【ミヤンマー初の国際

高級品だけでなく、1千円程度の日用品を扱うディスカウントストアも入居する。主婦のエイ・ミヤ・ティダ・カインさん(45)は「開業セールで70%の値引きがあると聞いて駆けつけた。持って帰れるだけ台所用品を買った」と興奮気味に話した。

【ミヤンマー最大の小売業者】シテイマート・ホームデザイン(HD)はミヤンマー・プラザ内に、



米カリフォルニア州は過年間、水不足を経験している。特にセントラルバレーと呼ばれる内陸の農業地帯は1年前飲み水はボトル詰めの水にしている。しかし、他の地帯は住民の水不足に対する関心薄く、自分の問題として捉えている人が少ない。この問題に立ち上がったのがサンシスコの3つの広告代理店。調査によると、一般人の生活に使う水量を用途別にすると、洗濯機が21.7%、シャワーが16.8%、料理が15.7%だったのに対し、トイレは7%と最も多かった。そこで6人は、トイレの節